

【共通の設問】各問の傍線部の助動詞が、下のア～カのどのなかまかを答える。(答え・解説は解答編)

記号	なかま	含まれる助動詞
ア	過去・完了・存続	き・けり／つ・ぬ・たり・り
イ	推量・推定・意志	む・むず・らむ・けむ・べし・まし・らし・めり・なり (伝聞推定)
ウ	打消	ず・じ・まじ
エ	使役・尊敬・受身・自発・可能	す・さす・しむ／る・らる
オ	断定・比況	なり (断定)・たり (断定)・ごとし・やうなり
カ	願望	まほし・たし

【第1部】基礎 (Q1～Q20)

Q1. 次の傍線部「き」のなかまは、ア～カのどれか。

京にありし家を思ひ出だしき。

Q2. 次の傍線部「けり」のなかまは、ア～カのどれか。

今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。

Q3. 次の傍線部「つ」のなかまは、ア～カのどれか。

急ぎて文を書きつ。

Q4. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

風吹きて花散りぬ。

Q5. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

庭に花咲きたり。

Q6. 次の傍線部「り」のなかまは、ア～カのどれか。

軒の梅咲けり。

Q7. 次の傍線部「む」のなかまは、ア～カのどれか。

われ、ひとり山に入らむ。

Q8. 次の傍線部「べし」のなかまは、ア～カのどれか。

君、今こそ行くべし。

Q9. 次の傍線部「らむ」のなかまは、ア～カのどれか。

山には今ごろ咲くらむ。

Q10. 次の傍線部「けむ」のなかまは、ア～カのどれか。

いかが思ひけむ。

Q11. 次の傍線部「ず」のなかまは、ア～カのどれか。

え答へも知らず。

Q12. 次の傍線部「じ」のなかまは、ア～カのどれか。

よもや来じ。

Q13. 次の傍線部「まじ」のなかまは、ア～カのどれか。

さること、よもあるまじ。されば行くまじ。

Q14. 次の傍線部「る」のなかまは、ア～カのどれか。

心なき人に憎まる。

Q15. 次の傍線部「らる」のなかまは、ア～カのどれか。

昔のことの思ひ出でらる。

Q16. 次の傍線部「す」のなかまは、ア～カのどれか。

家来に文を持たす。

Q17. 次の傍線部「しむ」のなかまは、ア～カのどれか。

兵を退かしむ。

Q18. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

これは都なり。

Q19. 次の傍線部「ごとし」のなかまは、ア～カのどれか。

光陰、矢のごとし。

Q20. 次の傍線部「まほし」のなかまは、ア～カのどれか。

心静かに家にあらまほし。

【第2部】標準 (Q21～Q50)

Q21. 次の傍線部「まし」のなかまは、ア～カのどれか。

風なくば花散らまし。

Q22. 次の傍線部「らし」のなかまは、ア～カのどれか。

春過ぎて夏来たるらし。

Q23. 次の傍線部「めり」のなかまは、ア～カのどれか。

空くらくして雨降るめり。

Q24. 次の傍線部「むず」のなかまは、ア～カのどれか。

やがて雨降らむず。

Q25. 次の傍線部「たし」のなかまは、ア～カのどれか。

都へ今すぐ行きたし。

Q26. 次の傍線部「さす」のなかまは、ア～カのどれか。

庭に木を植ゑさす。

Q27. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

清盛、太政大臣たり。

Q28. 次の傍線部「やうなり」のなかまは、ア～カのどれか。

ありさま、夢のやうなり。

Q29. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

いづくにか鳥の声すなり。

Q30. 次の傍線部「き」のなかまは、ア～カのどれか。

その夜、月をこそ見き。

Q31. 次の傍線部「けり」のなかまは、ア～カのどれか。

雷の音に皆おどろきけり。

Q32. 次の傍線部「つ」のなかまは、ア～カのどれか。

言ふべきこと、皆言ひつ。

Q33. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

日やうやう暮れぬ。

Q34. 次の傍線部「む」のなかまは、ア～カのどれか。

今ひとたび花を見む。

Q35. 次の傍線部「べし」のなかまは、ア～カのどれか。

人として礼あるべし。道を行くべし。

Q36. 次の傍線部「ず」のなかまは、ア～カのどれか。

ひと言も語らず。

Q37. 次の傍線部「る」のなかまは、ア～カのどれか。

故郷のことあはれと思はる。

Q38. 次の傍線部「らる」のなかまは、ア～カのどれか。

帝に召し出でらる。

Q39. 次の傍線部「す」のなかまは、ア～カのどれか。

童に歌を詠ます。

Q40. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

ここはわが家なり。

Q41. 次の傍線部「ごとし」のなかまは、ア～カのどれか。

世のはかなきこと、夢のごとし。

Q42. 次の傍線部「まほし」のなかまは、ア～カのどれか。

その物語、いかで聞かまほし。

Q43. 次の傍線部「たし」のなかまは、ア～カのどれか。

いま一度、かの人に会ひたし。

Q44. 次の傍線部「らむ」のなかまは、ア～カのどれか。

谷の鶯、今ぞ鳴くらむ。

Q45. 次の傍線部「けむ」のなかまは、ア～カのどれか。

古の人も、かく言ひけむ。

Q46. 次の傍線部「じ」のなかまは、ア～カのどれか。

われは二度と行かじ。

Q47. 次の傍線部「まじ」のなかまは、ア～カのどれか。

かかる雨に、舟出づまじ。

Q48. 次の傍線部「しむ」のなかまは、ア～カのどれか。

万民に法を知らしむ。

Q49. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

文をくはしく書きたり。

Q50. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

かの旅人は、名高き歌よみなり。

【第3部】 応用 (Q51～Q80)

Q51. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

その名をば、つゆ知らぬ人なし。

Q52. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

ほどなく日も暮れぬ。

Q53. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

隣より、笛の音すなり。

Q54. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

これぞ名にし負ふ都なり。

Q55. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

池のほとりに桜咲きたり。

Q56. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

かの人、ひとかどの武士たり。

Q57. 次の傍線部「る」のなかまは、ア～カのどれか。

軒端に梅咲けるを見つ。

Q58. 次の傍線部「る」のなかまは、ア～カのどれか。

いづくにても、人に名を問はる。

Q59. 次の傍線部「べき」のなかまは、ア～カのどれか。

世に従ふべきことわりあり。

Q60. 次の傍線部「ざる」のなかまは、ア～カのどれか。

いまだ世を知らざる若人。

Q61. 次の傍線部「む」のなかまは、ア～カのどれか。

いざ、都へ帰らむ。

Q62. 次の傍線部「けむ」のなかまは、ア～カのどれか。

いにしへ、たれか植ゑけむ。

Q63. 次の傍線部「さす」のなかまは、ア～カのどれか。

帝、女房に琴を教へさす。

Q64. 次の傍線部「らる」のなかまは、ア～カのどれか。

住みなれし都、恋しく覚えらる。

Q65. 次の傍線部「ごとし」のなかまは、ア～カのどれか。

その走ること、飛ぶ鳥のごとし。

Q66. 次の傍線部「まほし」のなかまは、ア～カのどれか。

しづかなる山里に住ままほし。

Q67. 次の傍線部「けり」のなかまは、ア～カのどれか。

旅の空にて、ひとり泣きけり。

Q68. 次の傍線部「らし」のなかまは、ア～カのどれか。

雪消えて、春は来たるらし。

Q69. 次の傍線部「まじ」のなかまは、ア～カのどれか。

われ、再びは都に住むまじ。

Q70. 次の傍線部「たし」のなかまは、ア～カのどれか。

今ひとたび、ふるさとを見たし。

Q71. 次の傍線部「き」のなかまは、ア～カのどれか。

その昔、われも世にありき。

Q72. 次の傍線部「つ」のなかまは、ア～カのどれか。

思ふことを、すべて言ひつ。

Q73. 次の傍線部「めり」のなかまは、ア～カのどれか。

人の心、移ろひゆくめり。

Q74. 次の傍線部「しむ」のなかまは、ア～カのどれか。

よき師につけて、学を修めしむ。

Q75. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

名のりせよ。われは武蔵の国の者なり。

Q76. 次の傍線部「む」のなかまは、ア～カのどれか。

げに、さも侍らむ。

Q77. 次の傍線部「ず」のなかまは、ア～カのどれか。

ものも言はず、ただ泣くばかりなり。

Q78. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

門の前に人立ちたり。

Q79. 次の傍線部「やうなり」のなかまは、ア～カのどれか。

その色、燃ゆる火のやうなり。

Q80. 次の傍線部「まし」のなかまは、ア～カのどれか。

鏡に色・形のあらましかば、映らざらまし。

Q81. 次の傍線部「けむ」のなかまは、ア～カのどれか。

いにしへの人は、この月をいかに眺めけむ。

Q82. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

夜もすがら、松に風の音すなり。

Q83. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

思へば、この世はみな夢なり。

Q84. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

東の空、やうやう白みぬ。

Q85. 次の傍線部「ぬ」のなかまは、ア～カのどれか。

行く末をば、つゆ知らぬ身ぞ。

Q86. 次の傍線部「る」のなかまは、ア～カのどれか。

帝、御簾のうちにて笑はる。

Q87. 次の傍線部「らる」のなかまは、ア～カのどれか。

昔のこののみ、しきりに思ひ出でらる。

Q88. 次の傍線部「す」のなかまは、ア～カのどれか。

大臣、家司に命じて車を引かす。

Q89. 次の傍線部「しむ」のなかまは、ア～カのどれか。

賢王、四方の民を安んぜしむ。

Q90. 次の傍線部「たり」のなかまは、ア～カのどれか。

その人、一軍の大將軍たり。

Q91. 次の傍線部「まほし」のなかまは、ア～カのどれか。

世を捨てて、深き山にこそ住ままほしけれ。

Q92. 次の傍線部「たし」のなかまは、ア～カのどれか。

あはれなる物語、なほ聞きたし。

Q93. 次の傍線部「まし」のなかまは、ア～カのどれか。

世の中に絶えて桜のなからましかば。

Q94. 次の傍線部「らむ」のなかまは、ア～カのどれか。

今ごろ、都には花も散るらむ。

Q95. 次の傍線部「べし」のなかまは、ア～カのどれか。

ますらをは、名をこそ惜しむべけれ。死ぬべし。

Q96. 次の傍線部「けり」のなかまは、ア～カのどれか。

別れを惜しみて、人みな泣きけり。

Q97. 次の傍線部「つ」のなかまは、ア～カのどれか。

言ふべきことは、はや言ひつ。

Q98. 次の傍線部「ず」のなかまは、ア～カのどれか。

いくたびも呼べど、答へず。

Q99. 次の傍線部「ごとし」のなかまは、ア～カのどれか。

過ぎにし日は、まことに夢のごとし。

Q100. 次の傍線部「なり」のなかまは、ア～カのどれか。

この歌をのせたる書は、古今集なり。